

鈴木康広「見立て」の実験室

「研究員」活動説明会

2014.6.22 (日) 10:30-12:00 (10:00 開場)

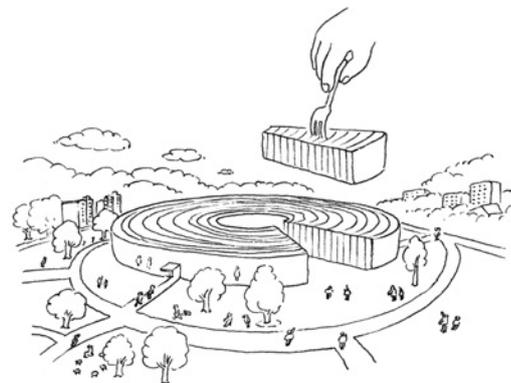
会場：金沢21世紀美術館 会議室1 (美術館1階、市役所口[西口]近く)

日常生活で「これは何かと似ている」と思うことがあります。このように、あるものを別のものとして表す技法を「見立て」といいます。鈴木康広は船の航跡をファスナーに、剣玉の赤い玉をリングに見立てるなど、見慣れたものや現象を独自の視点で捉え、世界の見方を広げる作品を発表しています。

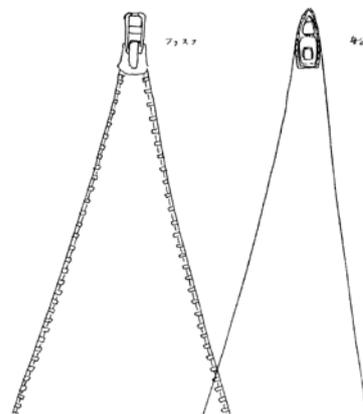
今秋、鈴木康広は金沢21世紀美術館で「見立て」をテーマとするプロジェクト展示を開催します。

これに先立ち、6/22に鈴木が来館、今までの作品やこれから金沢で取り組むことを紹介し、「見立ての実験室」の立ち上げから会期中の運営にいたるまで、一緒に活動するボランティア・メンバー、通称「研究員」を募集します。

鈴木康広の「ものの見方や捉え方」を体感しませんか？
いろいろな人と「見立ての実験室」で遊びませんか？



「バウムクーヘンの美術館」2014年



「研究員」募集！

参加ご希望の方、詳しい内容を知りたい方は活動説明会へご出席ください。(事前予約不要)

【活動内容】「鈴木康広「見立て」の実験室」(2014年9月13日-11月24日)の企画運営

【活動期間】2014年7月-11月 ※7-8月は月2回程度、9-11月は週末の午後を中心に活動予定

【参加対象】子どもから大人まで30名程度 (小学生以下は保護者と一緒に参加)

【応募条件】・鈴木康広の作品や活動に関心がある方

・6/22の活動説明会に参加できる方

・期間中、定期的な参加が可能な方

・E-mailで連絡がとれる方

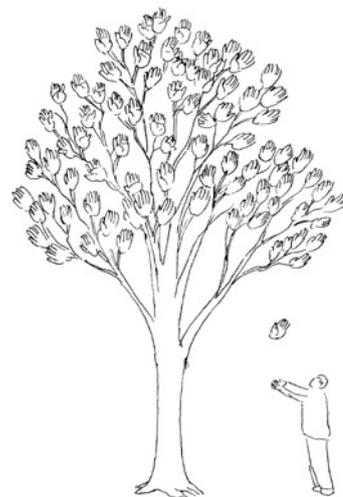
※無償での活動となります。現代アートや見立てに関する知識、技量は問いません。



6月22日に金沢で皆さんとお会いするのを
楽しみにしています。

鈴木康広 (すずきやすひろ)

1979年静岡県生まれ。代表作に「またばきの葉」「ファスナーの船」など。
水戸芸術館で「鈴木康広展 近所の地球」(8/2-10/19)を開催。



『またばきのはばき』(2011年、青幻社)より
中「ファスナーの船」のスケッチ
下「木の葉の座布団」のスケッチ

© SUZUKI Yasuhiro